

「ママの子連れ旅行事情」

博報堂こそだて家族研究所は、インターネット広告・メディア運営事業の株式会社インタースペースと協働で、インタースペース社が運営するママ向けコミュニティサイト『ママスタジアム』（URL: <http://mamastar.jp/>）にて、『ママリサ～いまだきママリサーチ～』を行っています。

このたび、『ママの子連れ旅行事情』について調査致しました。

今回の調査は、2016年1月14日～2016年1月15日に実施し、子育て中のママ達に、「子連れ旅行」に関する意識や実態を聞いたものです。

2015年にママたちは子どもたちとどこにどんな旅行に行ったのか、2016年どんなところに旅行に行きたいかなど、ママ達の声による興味深い結果が得られましたのでご報告します。

<リサーチ結果 発表>

■ 2015年に行った家族旅行（1泊以上の子連れ）、国内でのレジャー旅行に行ったママは75%！また、国内での帰省旅行は、51%でした。

一方で海外旅行に行ったママは、1回行った方が6%、2回以上になると0%という結果でした。国内・帰省旅行の割合が高いことから見ても、なかなか子連れ旅行で、海外はハードルが高いのかもしれない。

一方で国内・帰省旅行で、「5回以上」と答えたママが10%いました。子どもをつれてママに帰省しているママもいるようです。

Q.2015年に子連れ旅行（1泊以上）に行きましたか？

<国内のレジャー旅行>



<国内の帰省旅行>



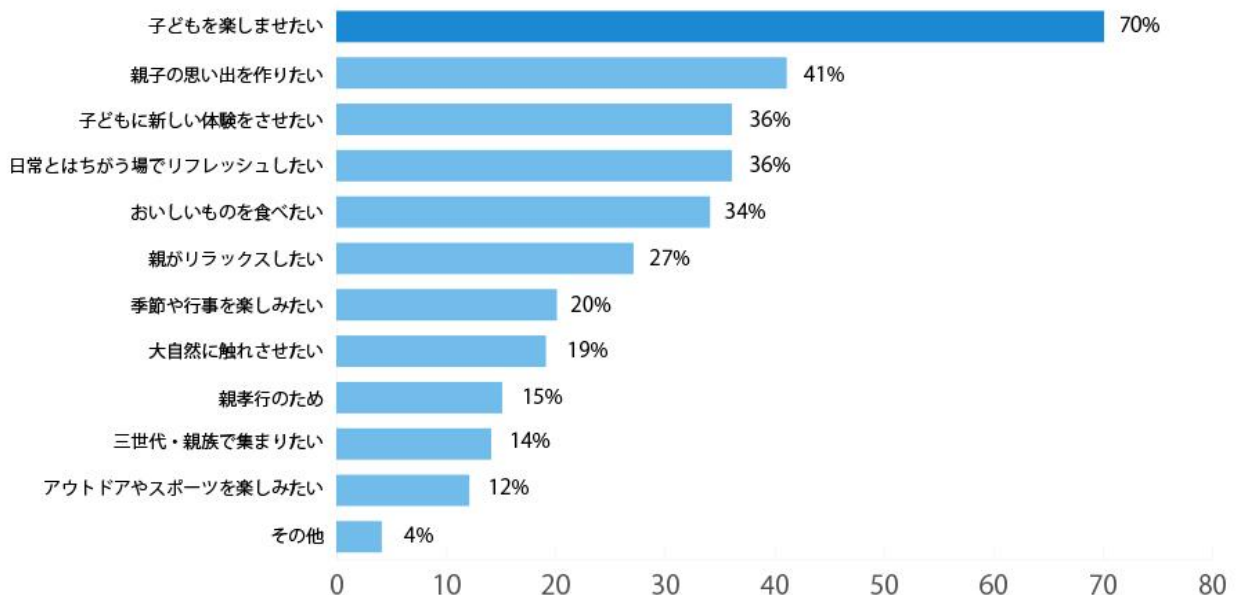
<海外旅行>



■ 家族旅行の目的、1位は「子どもを楽しませたい」！続いて2位は「親子の思い出をつくりたい」でした。

7割のママが、旅行の目的は、「子どもを楽しませたい」からと答えています。ほかにも、「子どもに新しい体験をさせたい」（36%）という“子ども目線”もありながら、「日常とはちがう場でリフレッシュしたい」（36%）「おいしいものを食べたい」（34%）など、ママ自身の楽しみも一緒にかなえられるのも、家族旅行の醍醐味といえそうです。

<子連れ旅行の目的>

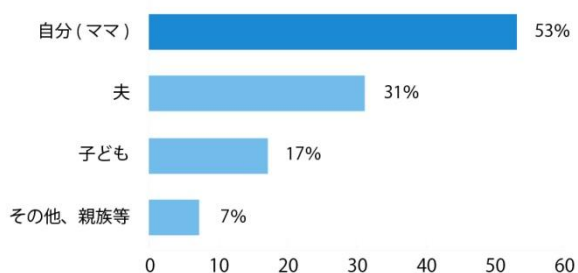


■ いまどきママの子連れ旅行は、基本ママ主導！

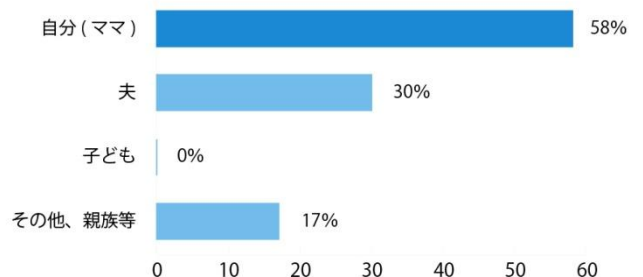
最初に旅行に行きたいと言い出した人（発起人）1位はママ自身（53%）、また、旅行を手配した人も1位はママ自身（58%）と、計画から実行までママ主導ということがわかりました。

自ら家族旅行の発起人となり、旅程を決めたり予約をとるなど手配までしているママが多いようです。きっと旅行の荷物準備などもママ・・・家族旅行は計画から実行までママが主導していることがわかりました。

<旅行を思い立った人>



<旅行の手配をした人>



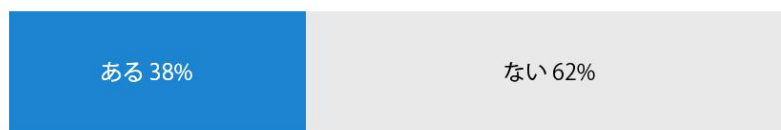
■ 親と一緒にレジャー旅行のときの費用分担。

- ・親に自分たちの分も支払ってもらったことが、「ある」と答えたママは 55%、「ない」と答えたママは 45%でした。
- ・親の分も自分たちで負担したことが、「ある」と答えたママは 38%、「ない」と答えたママは、62%でした。

<親世代に旅行代金を払ってもらったことがあるか>



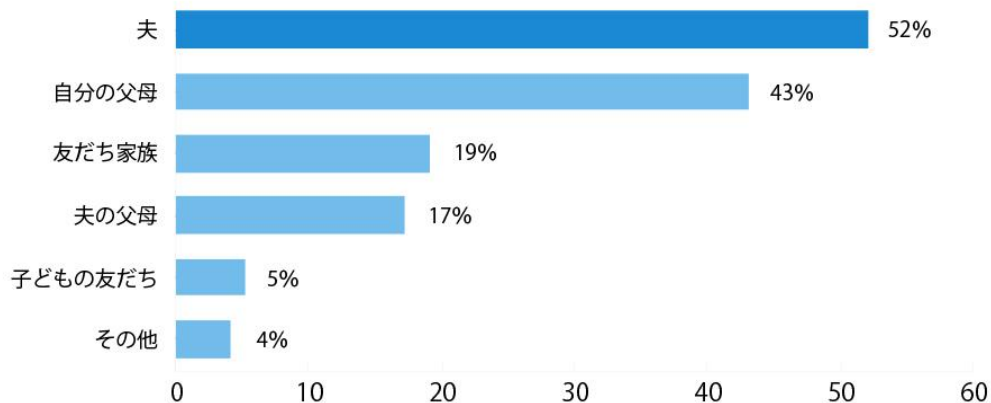
<親世代に旅行代金を払ったことがあるか>



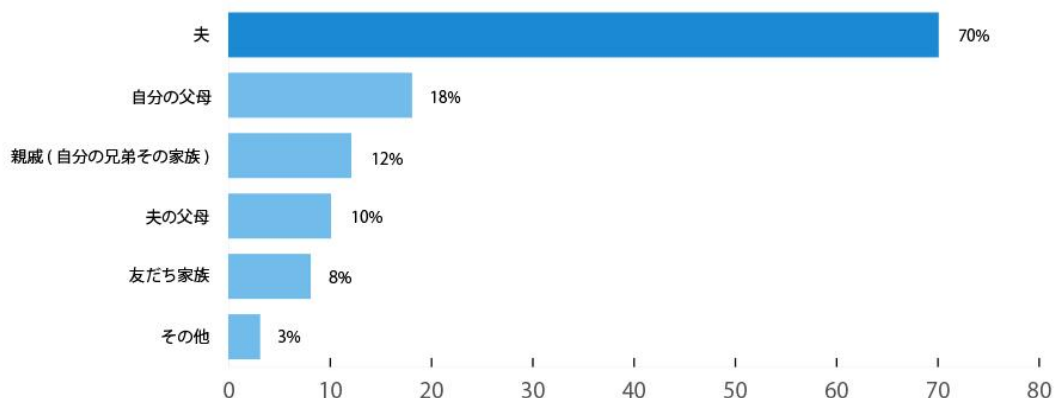
■ 2016 年はどんな旅行がしたいのか、ママ達の希望を聞いてみました。

今年一緒に子連れ旅行に行きたい人は、1 位のパパ（52%）に続いて、2 位は自分の両親（43%）。実際に行った人に比べて、「自分の父母と一緒に子連れ旅行をしたい」と考えているママが多いようです。

<2016 年一緒に旅行したい人>



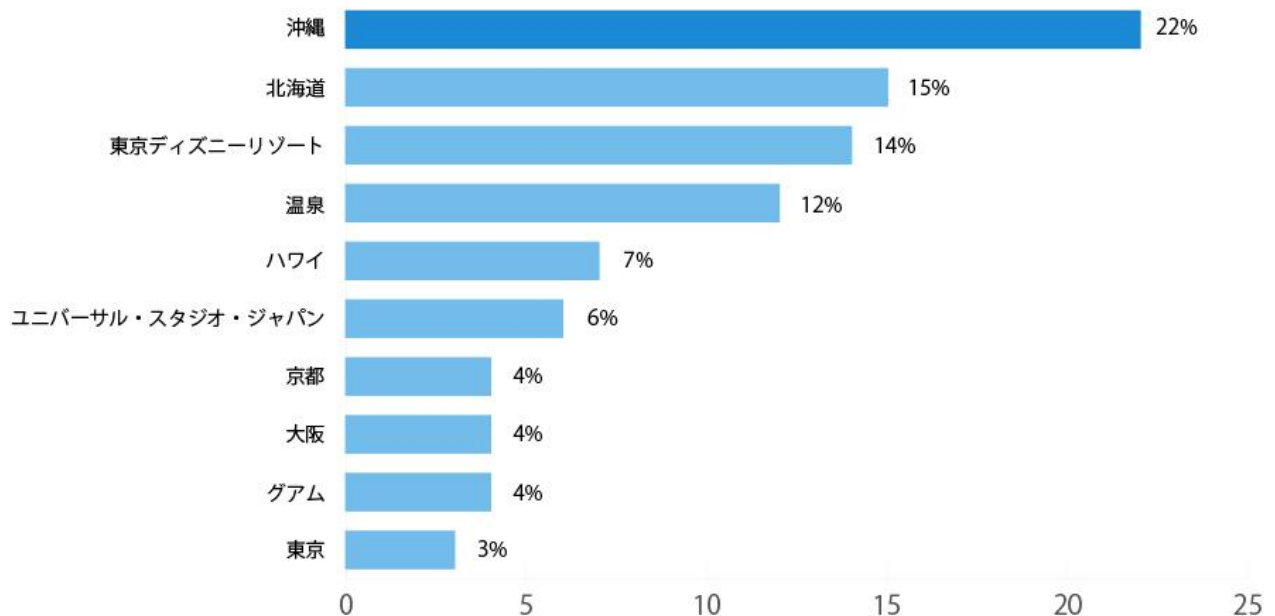
<参考：2015 年に一緒に旅行した人>



■ 2016 年、旅行で一番行きたい場所については、ママに人気第 1 位は沖縄（22%）！続いて北海道（15%）、東京ディズニーリゾート（14%）、温泉（12%）、ハワイ（7%）の順に。

そのほか、自由回答では、「とにかくのんびりできる場所」「夫のいないところ」という意見もありました。

<2016 年一番旅行したいところ>



■ 子連れ旅行の秘訣！旅行前の特別に行った準備とは・・・（FA）

- ・着替えを多めに持っていく
- ・道中のこどもの暇つぶしのおもちゃを準備していく
- ・道中のおやつや飲み物
- ・保険証を持参する
- ・宿泊施設などのこども対応を事前確認
- ・オムツや離乳食の準備

小さい子どもだと、多めの着替えは必需品。道中も機嫌良く過ごしてもらうためには、おかしや飲み物、おもちゃなどの準備が必須になります。病気になった場合に備えての保険証や、オムツなどの基本用品も入れると、・・・子どもが小さいときの子連れ旅行は荷物が多くて準備が大変なことがわかります。

■ これまでの子連れ旅行ならではのエピソード（FA）

子どもならではのびっくりエピソードに加え、夫婦ふたりでの旅行の時には感じることはできなかった、旅先の人の暖かさやサービス精神、子供の成長などは、子連れ旅行だからこそ実感できるものと言えます。

1. うんちおしっこトラブル

「飛行機で着陸前にベルトサインがついた後の赤ちゃんのうんち・・・ベルトサインが消えるまで席を立てず、子どもが大泣き」

「渋滞中に子どもがトイレ（大）をしなくなり困り果てた。泣く泣く車の中でさせたこと」

「高速が渋滞し、4歳の娘がトイレ—————！仕方なく、1歳になったばかりの息子のオムツで・・・。」

2. こどもの急な体調不良

「子供が飛行機に酔ってしまい、着陸と同時に噴水のように嘔吐…。私達夫婦の洋服は勿論、座席、床を汚してしまい焦りました。CAさん達が優しくフォローしてくれて助かりましたが、私達はしばらく異臭を放っていました。」

「1ヶ月前から予約して、本当に楽しみにしていた家族旅行。子供がいる家庭ならあるあるだろうけど、前日から子供が嘔吐。当日まで様子見したけど行けるわけもなく、当日キャンセル。楽しみにしていただけに、大人気ないけど、泣きたいほどショックでした。」

3. こどもの成長を感じた瞬間

「歩けなかった娘が、旅行先で、手をつないで歩くことができるようになった。」

「祖母のお見舞いや、お葬式などで昨年2回ほど沖縄に帰ったのですが、1ヶ月ほど叔母の家に滞在したら、5歳の娘が方言、訛りバリバリになりました。子供の吸収力がすごーい!!」

「海を次男が初めてみたとき、うーみーって、海の大さに感動したのか、とてつもない、大きな声で感激を表現してくれました。」

4. 子連れだからこそ実感する、旅行先でのホスピタリティー

「娘のおねしょに対する、ホテルの神対応に頭が下がりました…。一流の意識で運営しているんだなと感じました。」

「子連れの海外は大人だけでは感じられない海外の方の優しさやサービスを知ることができて、より旅行が楽しくなりました。」

<ママ達の「子連れ旅行」を徹底調査！>

- ◆調査手法 : ママスタジアムでのインターネット調査
- ◆対象者 : 子育て中の女性 n=427名
- ◆調査エリア : 全国
- ◆調査時期 : 2015年1月14日～2015年1月15日

【ママスタジアム】 <http://mamastar.jp/>

月間500万人以上のユーザーに利用される日本最大級のママ向けコミュニティサイト。子育て中のママ達が日夜熱く集い、育児や家族に関する喜びや悩み、ママ友やご近所関係についての相談、話題の社会問題やファッション・美容など、ママの日常を取り巻くあらゆることについて活発な情報交換がなされています。

またママに役立つ情報、気になる情報なども、ニュース記事として日々配信しています。

【博報堂こそだて家族研究所】

子どもを持つ家族の消費やライフスタイルについて研究している、株式会社博報堂の専門組織です。

名称：博報堂こそだて家族研究所

設立：2012年10月15日

所長：渋谷道紀（博報堂常務執行役員）

上席研究員：脇田英津子

メンバー：35名（2016年3月1日現在）